

第7回 北浦水質改善計画検討会 議事概要

1. 日時

令和6年3月6日(水) 10:00~12:00

2. 場所

HOTEL FIT 大会議室 (WEB併用)

3. 出席者

(委員)

筑波大学 名誉教授 福島 武彦 (座長)

茨城大学 農学部 地域総合農学科 教授 黒田 久雄

茨城大学 地球・地域環境共創機構 流域圏環境部門 助教 増永 英治

東京工業大学 環境・社会理工学院 教授 木内 豪

国立研究開発法人 国立環境研究所

生物多様性領域 生態系機能評価研究室 室長 松崎 慎一郎

国立研究開発法人 国立環境研究所

気候変動適応センター 気候変動影響観測研究室 室長 西廣 淳

国立研究開発法人 国立環境研究所

地域環境保全領域 環境管理技術研究室 シニア研究員 富岡 典子

公益財団法人 リバーフロント研究所 主席研究員 中村 圭吾

国立研究開発法人 土木研究所

流域水環境研究グループ 水質チーム 上席研究員 山下 洋正

茨城大学 地球・地域環境共創機構 水圏環境フィールドステーション 教授 加納 光樹

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

畜産研究部門 動物行動管理研究領域 動物行動管理グループ 主任研究員 益子 美由希

(行政委員)

茨城県 県民生活環境部 環境対策課 課長 市村 雄一

(代理出席： 課長補佐(技術総括) 斎藤 美子)

独立行政法人 水資源機構 利根川下流総合管理所 所長 小島 幸康

国土交通省 関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所 所長 山本 陽子

(事務局)

国土交通省 関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所

4. 議事

流動等特性把握調査結果を踏まえた施設配置の最終案の確認

施設設計に向けた施設案の検討結果

施設整備による周辺環境への評価に係る調査計画案

川尻川湖内湖浄化施設の工事結果の報告

5. 議事要旨

■流動等特性把握調査結果を踏まえた施設配置の最終案の確認

【意見】

- ・A案を最優先案とする根拠として、施設配置の検討において水質、植生以外の考え方を追加できるとよい。
- ・多機能性として、ネイチャー・ベースド・ソリューション、グリーンインフラなどの機能があるか、段階的な施工を行い、モニタリング調査をしながら機能を付加できるか等の観点を、追加するとよい。
- ・多機能性はポジティブな面だけではなく、リスクとして懸念される側面も整理すべき。
- ・将来の整備に向けて、現時点で懸念される事項を、事前調査を行う際のポイントとして整理しておくといよい。

【決定事項】

⇒上記指摘を踏まえて、A案を最優先案とする説明ができるように整理を行う。

■施設設計に向けた施設案の検討結果

【意見】

- ・A案の維持管理は、維持浚渫と植生帯復元の区間分けをせず、堆積状況を見ながら柔軟に判断していくべき。
- ・北浦北部は特に地盤が軟弱であることから、それを踏まえた施設構造の検討が必要である。
- ・C案は、土砂、窒素、リンの下流の動態にも配慮して施設配置を検討すべき。
- ・C案は湖底地形にまで影響するため、リスクがあることを整理しておく必要がある。
- ・北浦ではワカサギの減少が深刻である。C案は、回遊魚（ワカサギ）の移動阻害の可能性があり。また、ワカサギは湖水が高温の際、巴川などの低水温の河口域に移動するため、それを阻害しないよう配慮が必要である。
- ・C案の突堤の開口部の設置位置は、湖岸沿い及び沖合（予防的措置）とした方がよい。ただし、開口部の諸元については、関係機関と協議し慎重に検討することが必要である。
- ・施設構造の景観的・生態的な評価は、設置箇所の過去の地形や、施設設置後に想定される環境変化（土砂の堆積、抽水植物の繁茂）を踏まえて、配置場所に相応しい構造を検討するのがよい。

【決定事項】

⇒A案から整備することで合意する。地盤が軟弱であるため、施設構造を検討すること。

⇒C案は、土砂や水質、ワカサギ等に配慮した施設配置を検討することが必要である。

⇒施設構造の景観的・生態的な評価は、地形や設置後の環境変化を踏まえて検討する。

■施設整備による周辺環境への評価に係る調査計画案

【意見】

- ・A案などの施設整備の施工方法の変更に合わせて、モニタリング調査は柔軟に設計できるとよい。
- ・A案では最上流の突堤の上流側にも、水質等の調査地点を設けるべき。

- ・水質調査は、1年目は調査期間を長くとして施設整備の影響を確認し、その後順次、観測期間を絞り込むことが合理的である。
- ・水深 1m の場所に突堤を整備し、水が全く動かなくなるとアオコが発生できる環境になるため、水温の躍層が測定できると良い。
- ・巴川と湖全域を回遊する魚が何種もいる。ワカサギは巴川の上流側で産卵し仔魚が下ってくるので、流下仔魚調査を追加してほしい。もう少し詳しくワカサギの産卵場所などを記載できると良い。
- ・過去にカンムリカイツブリの営巣記録がある場所についても、鳥類の調査地点として追加検討できると良い。
- ・景観や施工方法などがプロジェクトの課題になっているため、景観面や施工面でのモニタリング調査を検討できるとよい。

【決定事項】

⇒水質等の環境面や施設整備の施工面などのモニタリング調査の詳細内容に関しては、専門の委員に相談しながら進めることとする。

■川尻川湖内湖浄化施設の工事結果の報告

夏期に実施した工事及び調査結果について、事務局から報告した。

以上

